

# 千葉大学学生の性に関する意識と行動 のアンケート調査結果

**今年の春の一般定期健康診断の際には、アンケートにご協力  
いただきありがとうございました。  
調査結果の一部を、本年9月17日に第47回全国大学保健  
管理研究集会にて報告させていただきました。**

**千葉大学総合安全衛生管理機構**

# 目的と方法

**【目的】** 大学生の性に関する意識と行動のアンケート調査を行い、大学生の性感染症予防教育の基礎とする。

**【対象】** 千葉大学西千葉キャンパス(メインキャンパス)にて定期健康診断(平成21年4月2日から5月14日までのべ21日間)を受診した学部学生。(留学生除く)

**【方法】** 千葉大学における研究倫理審査委員会の審査承認後、「性に関する意識と行動のアンケート調査Ⅱ-大学生のHIV感染予防のために-」<国立大学法人保健管理施設協議会エイズ感染症特別委員会作成>を用いてアンケート調査を行った。



定期健康診断の会場前にテントを設営。プライバシー保護に配慮し、アンケート担当者は、テント外で説明を行う。学生は選挙用衝立付き記入台で記入し、回収箱に投函する。記入時間は約10分。その後、定期健康診断会場へ移動する。

# アンケート回収数内訳



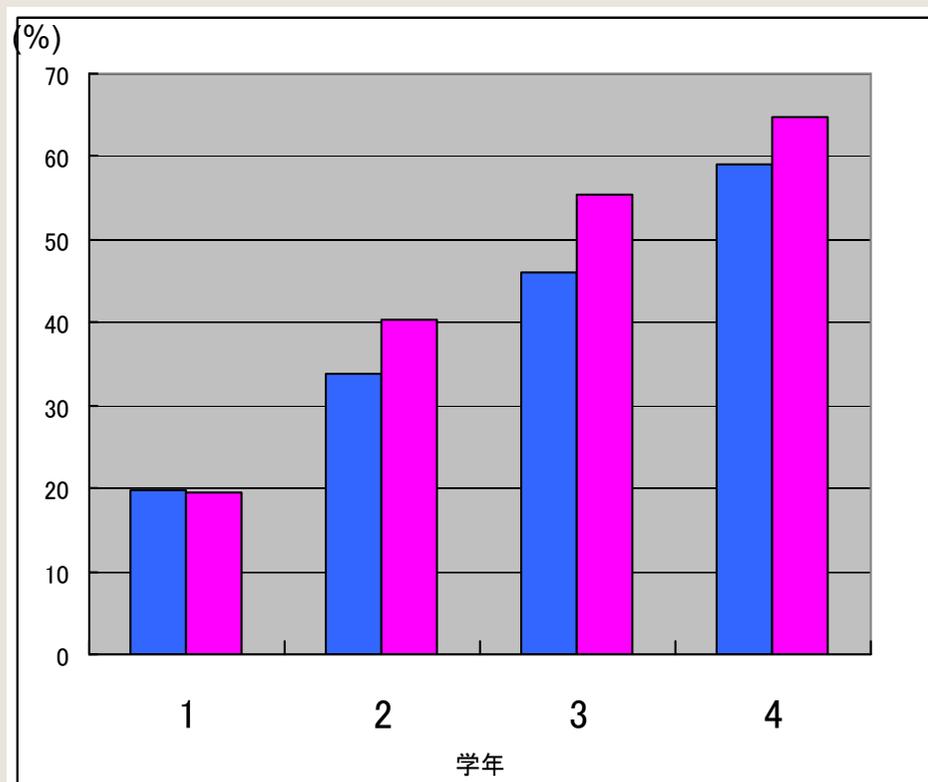
アンケート回収数(定期健康診断受診 7799人) 7602人  
有効回答数(1年次から4年次の未婚者) 7134人

	1年	2年	3年	4年	計(人)	平均年齢(歳)
男	1303	710	944	1118	4075	20.07 ± 1.88
女	884	655	771	749	3059	19.95 ± 1.76
計	2187	1365	1715	1867	7134	20.02 ± 1.83

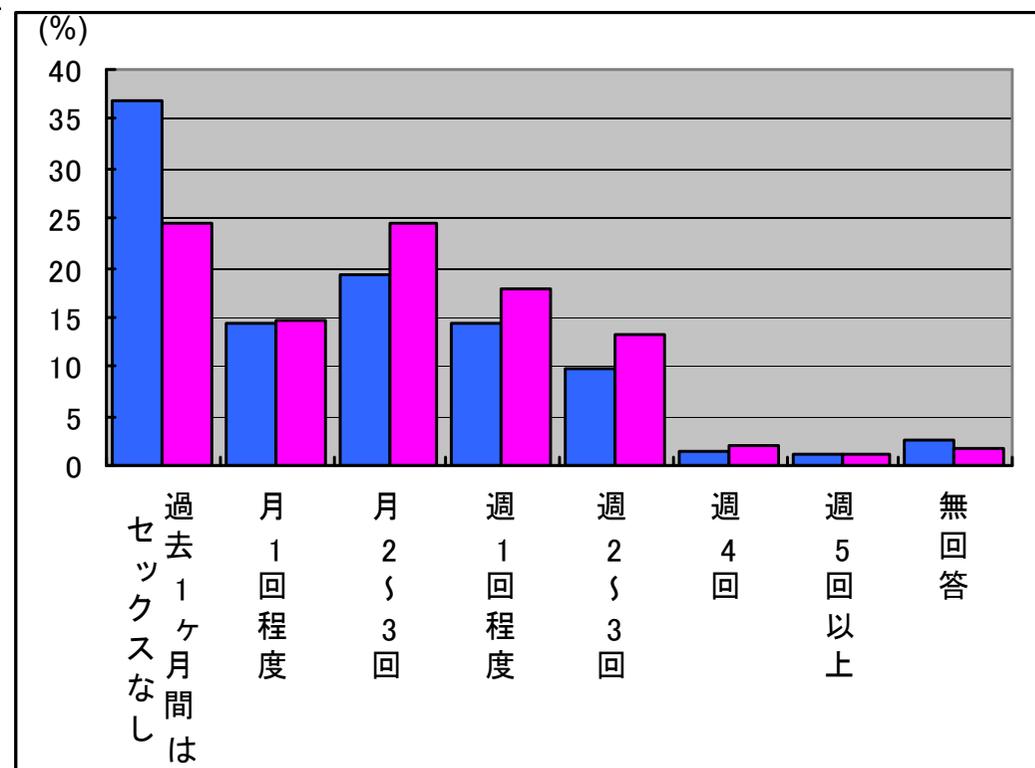
# 学年別性経験者率と頻度



## 学年別性経験者率



## 頻度



入学時は20%程度だった経験者率が4年生になると約60%に上昇します。大学生活の間に、初めての性経験を持つ学生が多いようです。

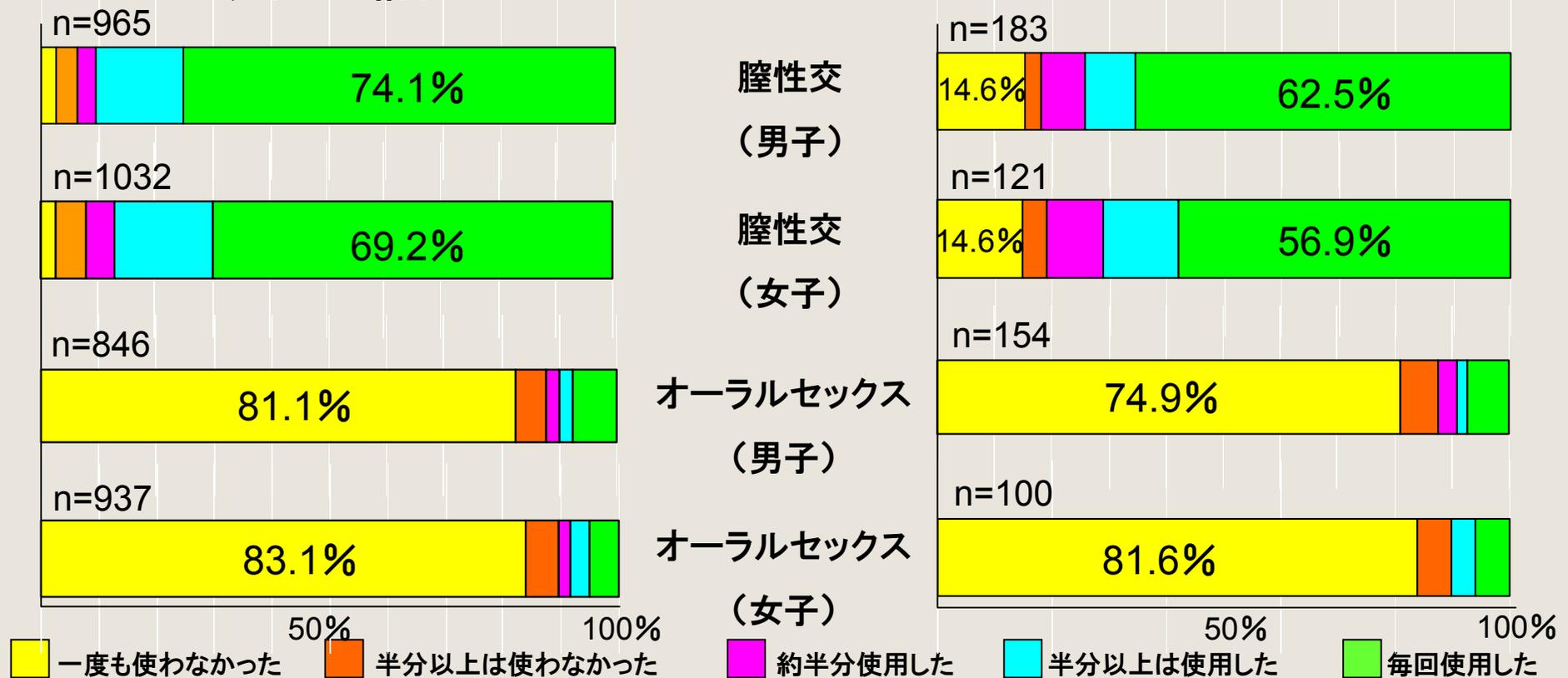
■ 男 n=1593  
■ 女 n=1351

# コンドームの使用状況

## 相手別コンドーム使用状況

### 決まった相手

### その場限りの相手



よく用いられる避妊方法 コンドーム93.9%。膣外射精16.2%（膣外射精は避妊ではありません。）

# コンドーム使用に対する考え方



Chiba University

考え方(そう思う)	男 (%) n=4075	女 n=3059
コンドームを使うと快感が損なわれる	28.9	12.6
コンドームを持ち歩く人は遊びなれた人である	22.5	16.5
コンドームを買うのは恥ずかしい	37.4	55.3
コンドームは避妊に役立ち、HIV感染症の予防もできる	82.7	85.4
コンドームは外れやすい	15.2	19.6
コンドームは破れやすい	19.5	24.3
コンドームの使用は自分からは言い出せない	4.7	8.5
コンドームを使うとセックスの雰囲気が壊れる	5.5	3.9
コンドームを嫌がる男性は相手のことを大切に思っていない	57.8	79.4
相手がどうしても使おうと言う以外はコンドームは使いたくない	4.7	1.3

# HIVの知識に関する設問の正解



## 設問

HIV感染者数は増加していると思う

はい、増加しています。

HIV感染経路は性行為によるものが最も多い

はい、最も多いです

エイズの治療薬は進歩したが、エイズを完治させることはできない

はい、しかし治療を続ければ元気に生活できます。

HIV感染者が使用した食器を共用すると感染の可能性がある

いいえ、感染しません。

HIV感染者と一緒にプールや風呂に入ると感染の可能性がある

いいえ、感染しません。

HIV感染者を刺した蚊や虫に刺されると感染の可能性がある

いいえ、感染しません。医療上の針刺し事故でも感染率は0.3%です。

HIV感染者が使用したトイレを使うと感染の可能性がある

いいえ、感染しません。

# HIVの知識に関する正解率



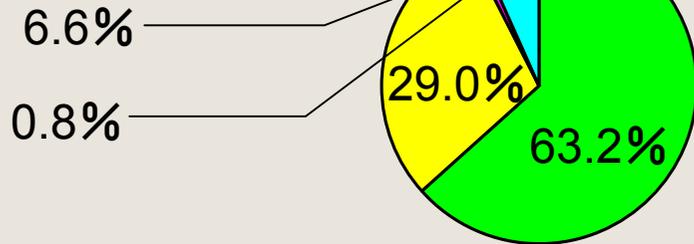
質問項目(正解)	(%)	男 n=4075	女 n=3059
HIV感染者数は増加していると思う		74.6	78.4
HIV感染経路は性行為によるものが最も多い		82.0	84.4
エイズの治療薬は進歩したが、エイズを完治させることはできない		76.7	75.3
HIV感染者が使用した食器を共用すると感染の可能性がある		76.9	84.1
HIV感染者と一緒にプールや風呂に入ると感染の可能性がある		77.0	79.8
HIV感染者を刺した蚊や虫に刺されると感染の可能性がある		32.9	34.3
HIV感染者が使用したトイレを使うと感染の可能性がある		78.7	81.8

# HIV感染者に対する意識

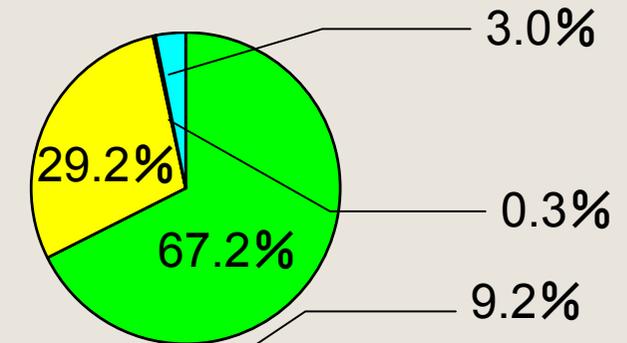
男 (n=4075)

女 (n=3059)

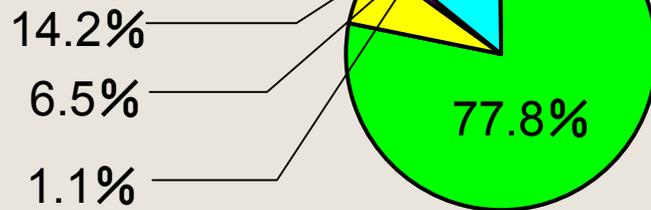
同級生として



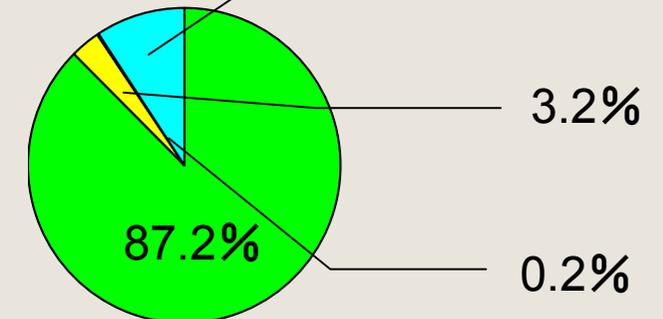
- 問題なく受け入れられる
- ややためらいがあるが受け入れられる
- 絶対に受け入れられない
- わからない



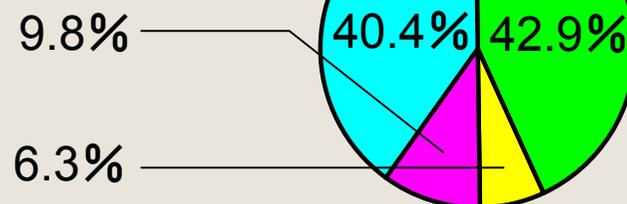
友人として



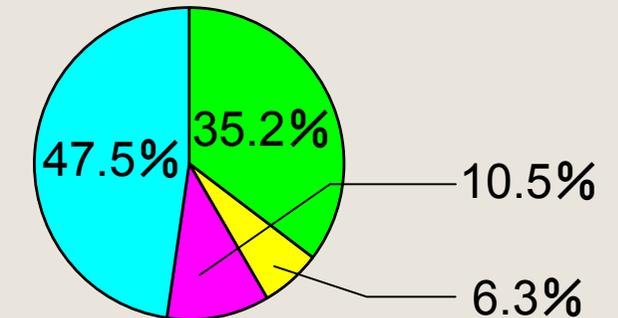
- これまで同様付き合う
- 付き合いを減らす
- 付き合いをやめる
- わからない



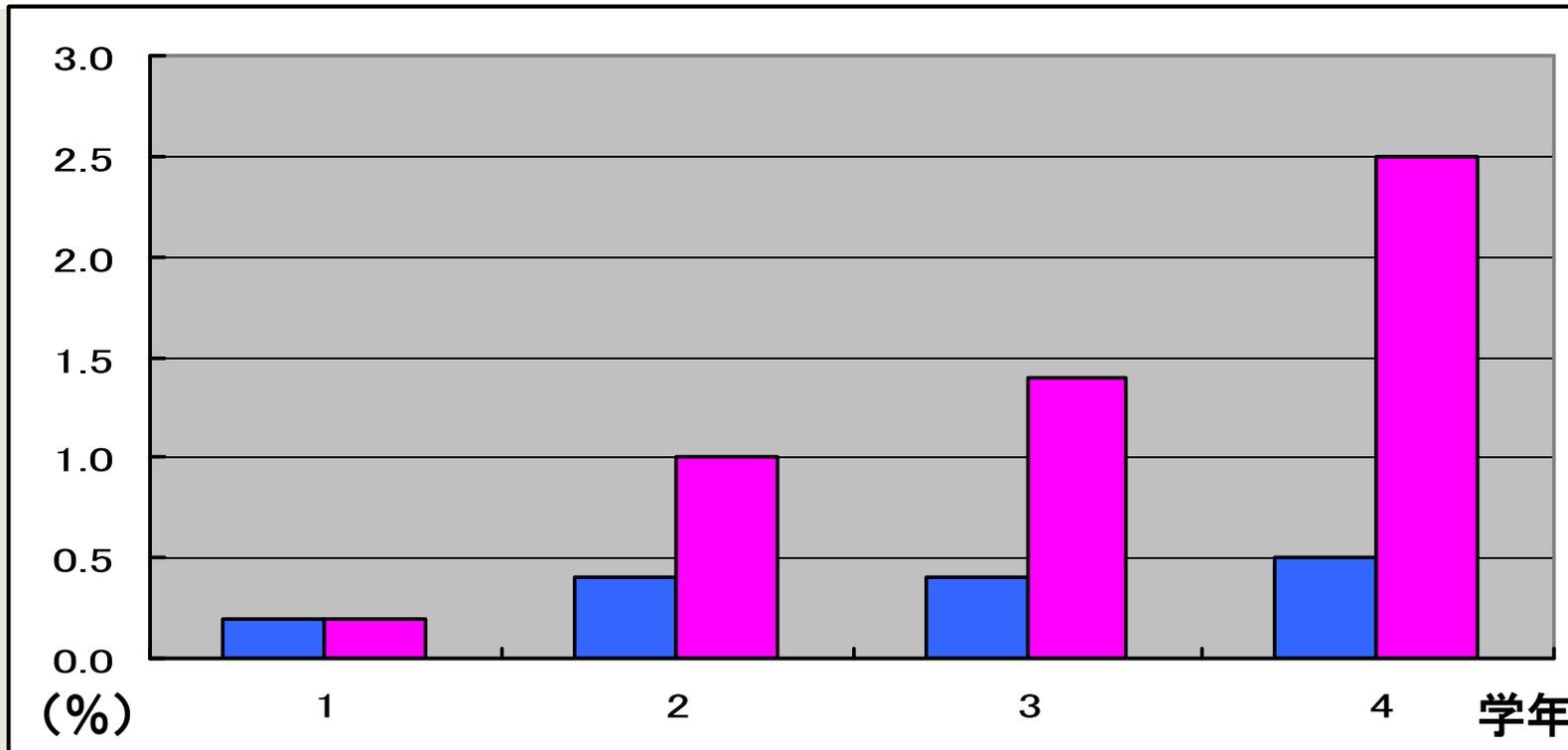
恋人として



- これまで同様付き合う
- 付き合いを減らす
- 付き合いをやめる
- わからない



# 性感染症の罹患率



性感染症は性行為で感染する病気です。若者を中心に感染者が増加しています。クラミジアに感染しているとHIVに感染しやすくなります。また女性の場合放置しておくと不妊症になる可能性が高くなります。性感染症にかかったら、必ずパートナーにも知らせ同時に治療しましょう。

# HIV感染の不安と検査



Chiba University

HIV感染不安あり 335/7134 名 4.7%

HIV検査受検率 62/335名 18.5%

検査を受けなかった理由 (％)	複数回答あり	n = 273
どこで検査できるか知らなかった		37.6
結果を知るのが怖かった		26.4
検査のプライバシーが守られるか心配だった		10.9
検査しても意味がないと思った		10.1
検査費用が高かった		3.1
その他		25.6

**H I V検査は、各保健所で匿名で受けられます。(無料)**

# ピルの知識に関する設問の正解



## 質問項目 (正解)

ピルは避妊に役立つ (YES)

ピルによって悪心/嘔吐、出血等の副作用が出る場合がある (YES)

ピルによって体重増加の副作用が出る場合がある (YES)

ピルはエイズの予防になる (NO)

ピルは性感染症の予防になる (NO)

ピルは精子を殺す作用がある (NO)

ピルは精子の侵入を防ぐ作用がある (NO)

ピルは排卵を抑える作用がある (YES)

経口避妊薬として認可されているピルですが、あくまでも避妊薬です。性感染症を防ぐことはできません。また、副作用があるので処方には医師の診察が必要です。

# ピルの知識の正解率



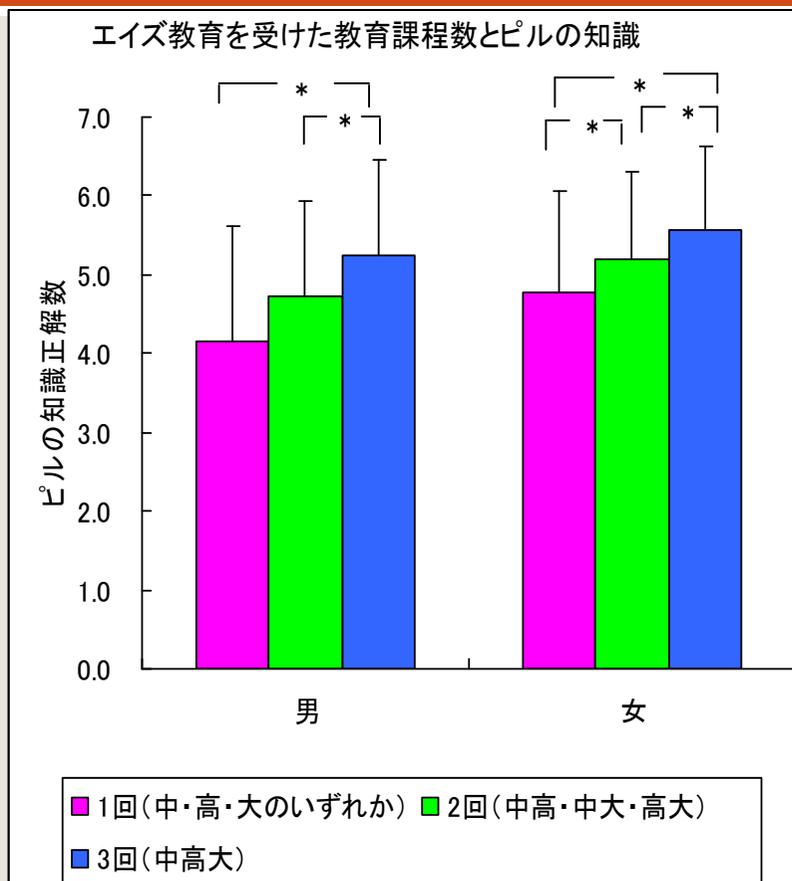
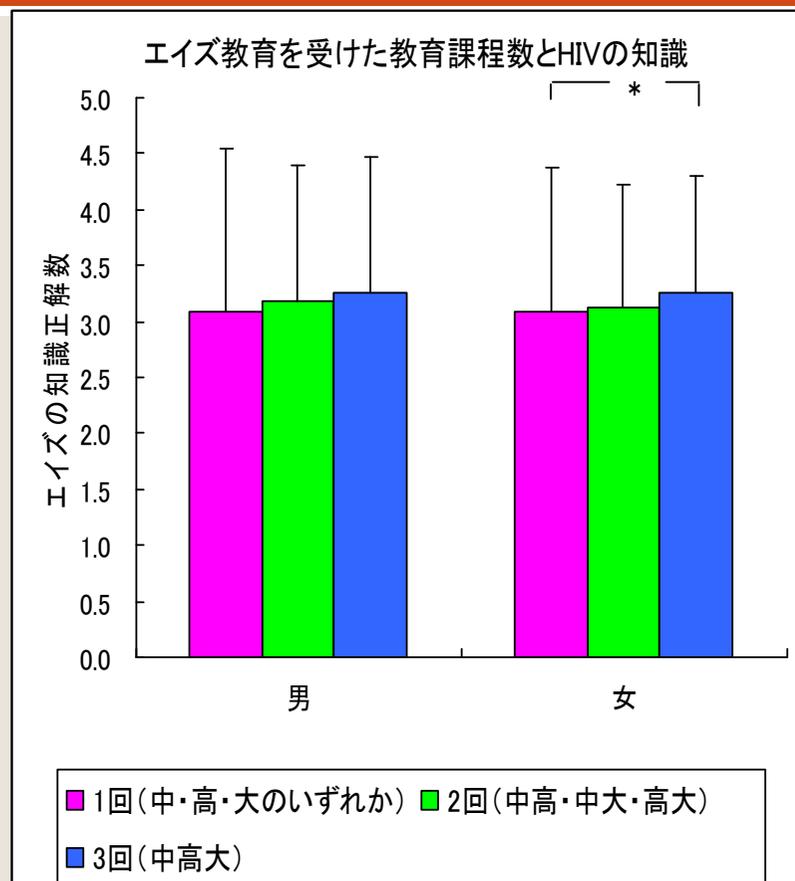
質問項目	(%)	男 n=4075	女 n=3059
ピルは避妊に役立つ		87.5	93.3
ピルによって悪心/嘔吐、出血等の副作用が出る場合がある		50.9	60.9
ピルによって体重増加の副作用が出る場合がある		28.6	36.2
ピルはエイズの予防になる		65.7	69.3
ピルは性感染症の予防になる		63.9	67.1
ピルは精子を殺す作用がある		45.6	56.7
ピルは精子の侵入を防ぐ作用がある		50.7	56.2
ピルは排卵を抑える作用がある		57.3	67.5

<ピル使用希望率>

男(ピルを使用してもらいたい)14.2%

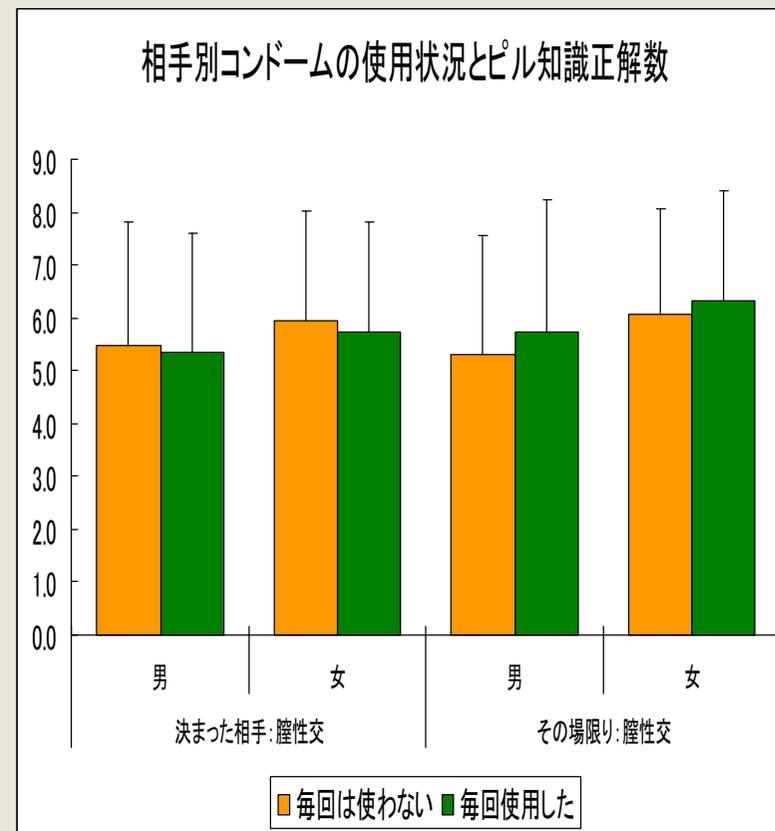
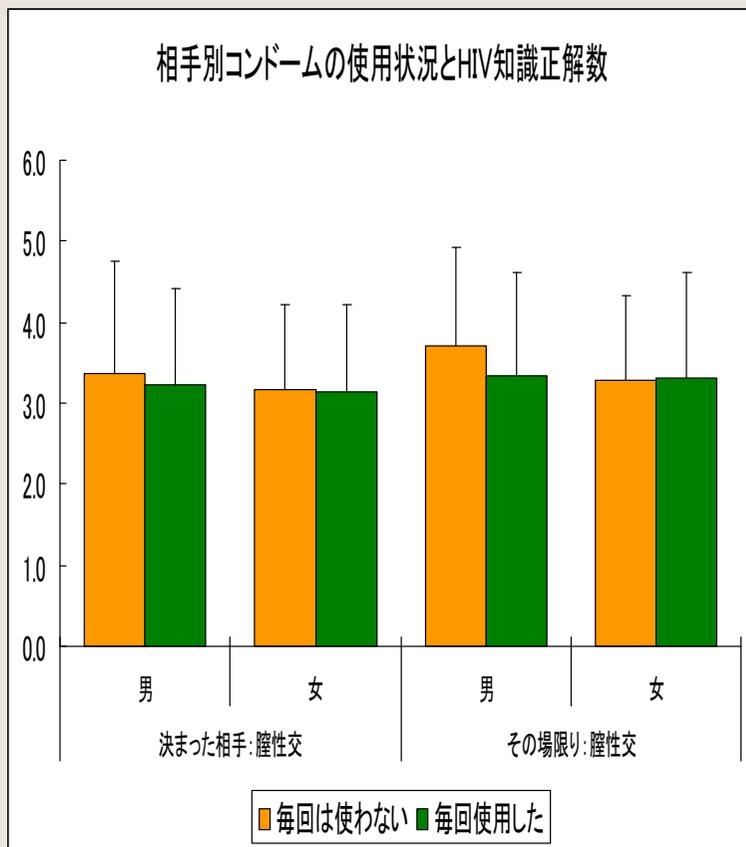
女15.9%

# 性教育と正解率



中学・高校・大学の学校教育でエイズ教育を受けた回数と、このアンケート調査のHIV知識とピルの知識の正解数の相関を調べたら1回よりも2回、2回よりも3回受けている方が正解数が高いという結果が得られました。

# コンドームの使用と正解率



知識と行動の関係について調べてみましたが、必ずしも知識があるから行動も伴うとは限らないようです。

# まとめ

- 定期健康診断の機会を利用し、プライバシーに充分配慮した大学生の性行動に関する大規模アンケート調査を実施した。
- 大学生においては
  - ①初めての性経験を持つ年代である。
  - ②HIVを含む性感染症に対する意識が低い。
- 大学生の立場に立った、より具体的な性感染症予防教育が求められる。